



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R8,9,25 No,19

郡築小ホームページ

子供たちが安心して学習に集中できる環境に向けて

学校では子供たちが日々の学習にしっかりと向かい、安心して過ごせるよう、持参する学用品や身の回り品について「シンプルで使いやすいもの」をすすめています。

しかし、最近、学校の中で以下のような品物や使い方が少しずつ見受けられるようになりました。

- *マスコットやチャームなどがついた鉛筆
- *玩具のようなデザインのスティック型などの消しゴム
- *リボンや光る飾りなど、華やかな髪留めゴム
- *髪留めゴムをブレスレットのように腕に巻くこと

これらは子供たちにとってとても魅力的なものですが、授業中に気になって触ってしまい集中が途切れてしまったり、転がったり落としたりした際に周りの友達の気を散らせてしまったりすることがあります。また、「友達のものを入れ替わってしまった」、「なくしてしまった」などのちょっと悲しいトラブルや、「競争」につながることも少なくありません。

学校はみんなが平等に、落ち着いて学ぶ場所です。髪留めゴムについても、本来の「髪をまとめる」という目的の範囲内で、黒・茶・紺などのシンプルなものを選ぶように年度初めから話しています。

学用品や身に付ける物などを購入される際には、「これは学校に持って行っていいのかな?」と迷われることもあるかと思いますが、そのように迷われたときは、「学校は勉強に集中する場所だから、今回はお家に置いておこうね」と、一歩立ち止まる選択をしていただけると幸いです。



子供たちが毎日の学校生活を落ち着いて、実り多く過ごせるよう、ご家庭でも筆箱の中身や身の回り品について、お子様と一緒に一度お話ししてみてください。

稲刈りを体験しました

9月24日(木)、快晴の中、3・4年生は稲刈りを体験しました。この体験は、JA青壮年部の方々の全面的なご協力の中、春の田植え体験に引き続き行われたものです。

この体験を通して、子供たちは、生産者や食べ物に対する感謝心や食文化の尊重、(今後行われるおにぎりパーティでの)食事の喜びや楽しさなどを大いに感じたことと思います。

JA青壮年部の方々には、田植えや稲刈りのみならず、継続的な田の管理を、ご自分の農作業や地震被害からの復旧作業の合間に行っていただきました。そのおかげで、子供たちは貴重な体験ができました。心より感謝します。



水泳学習が終了しました

9月24日、全学年の水泳学習が終了しました。今年度は、本校プールの老朽化に伴い、アレスト八代のプールを借用して水泳学習を行ってきました。

全6回各2時間、計12時間(往復のバス移動時間含む)の学習ではありましたが、泳ぎやすい水温、天候に左右されない屋内環境、専門のインストラクターの指導などにより、多くの子供が各学年もしくは個人の目標を達成していました。

子供たちの送迎並びに指導をしていただいたアレスト八代の皆様には、心より感謝申し上げます。

